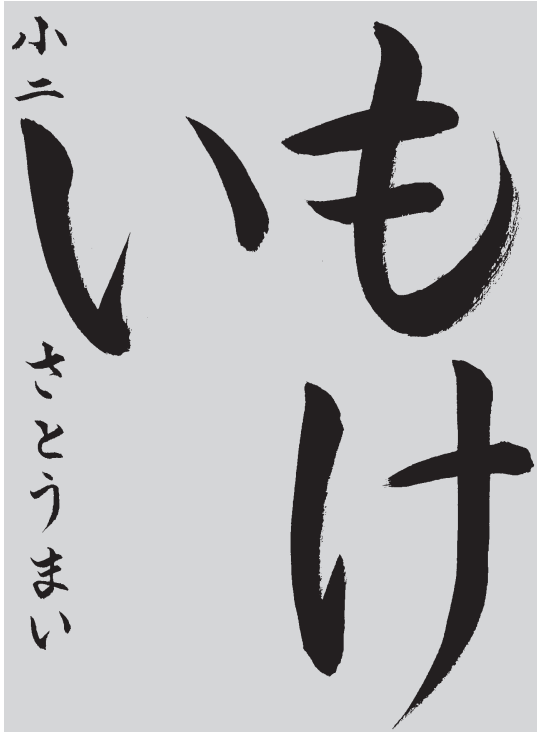


〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



山口仙草先生

幼・小学1年参考手本



加藤眺溪先生



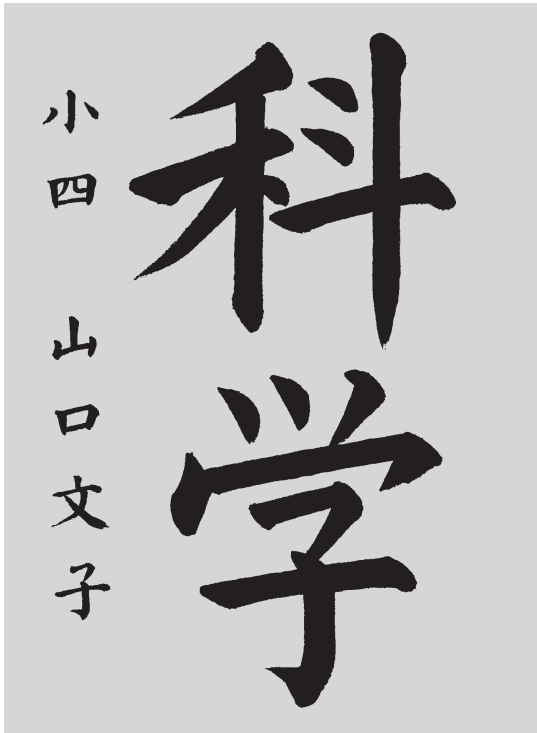
最首翠風先生



半田藤扇先生

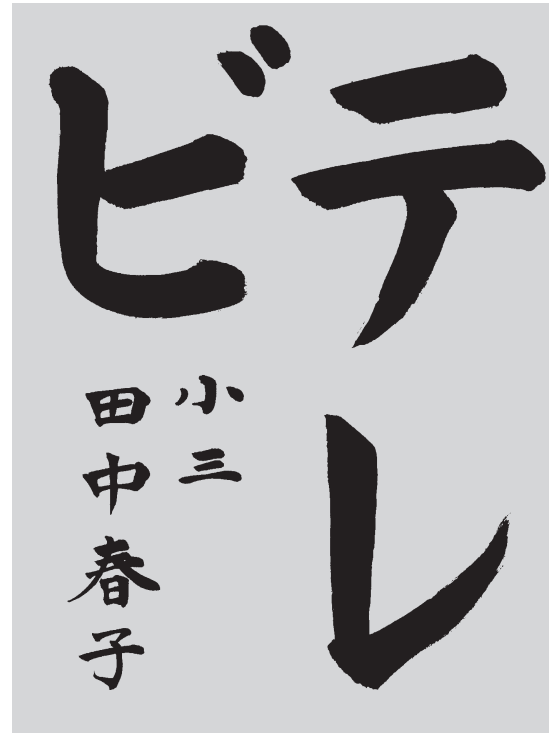
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小浜大明先生

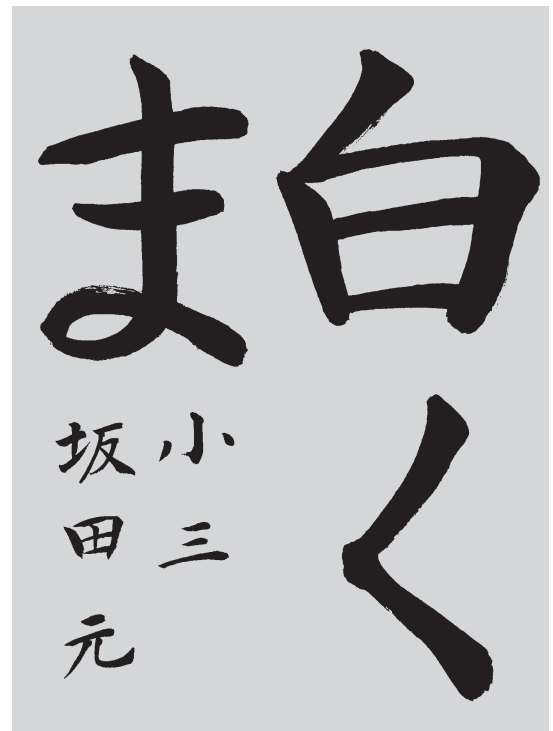
小学3年参考手本



辻元大雲先生



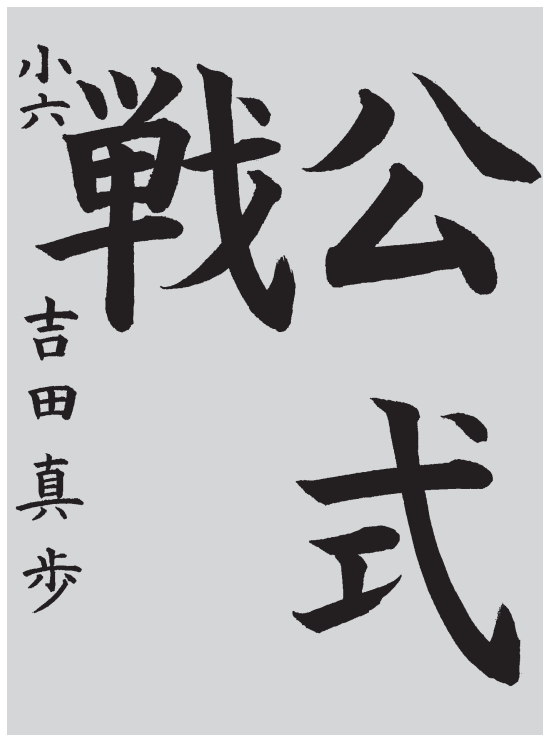
広瀬舟雲先生



大野祥雲先生

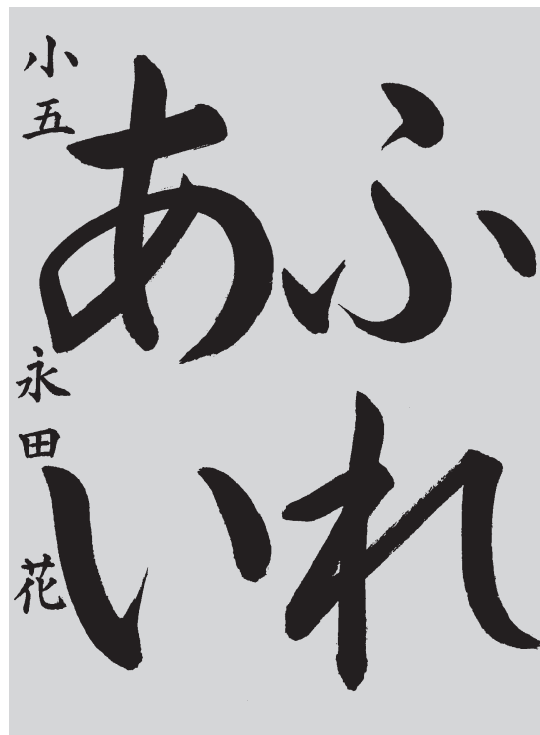
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



小竹石雲先生

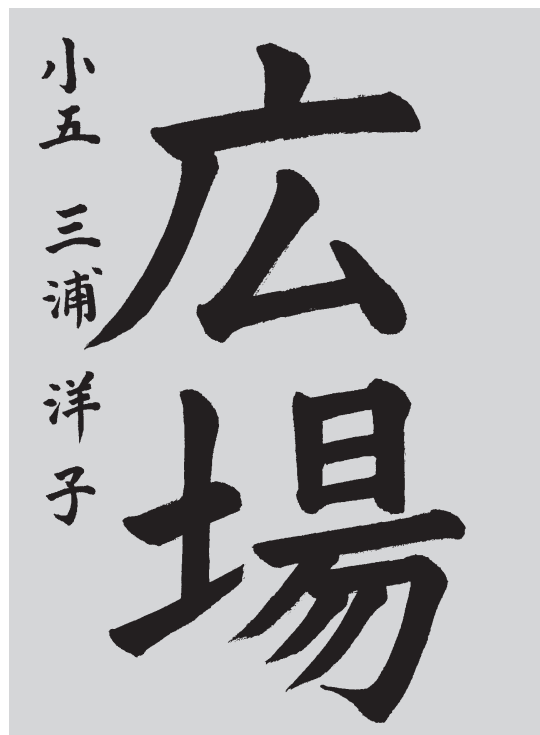
小学5年参考手本



稲垣小燕先生



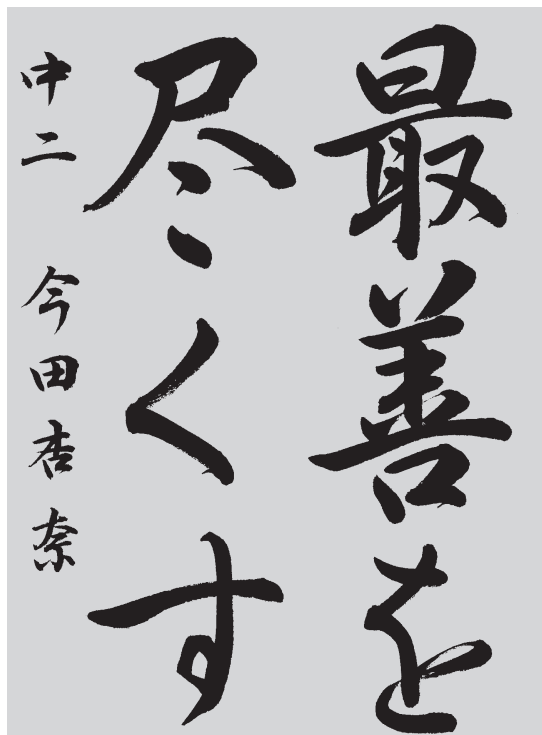
西林乘宣先生



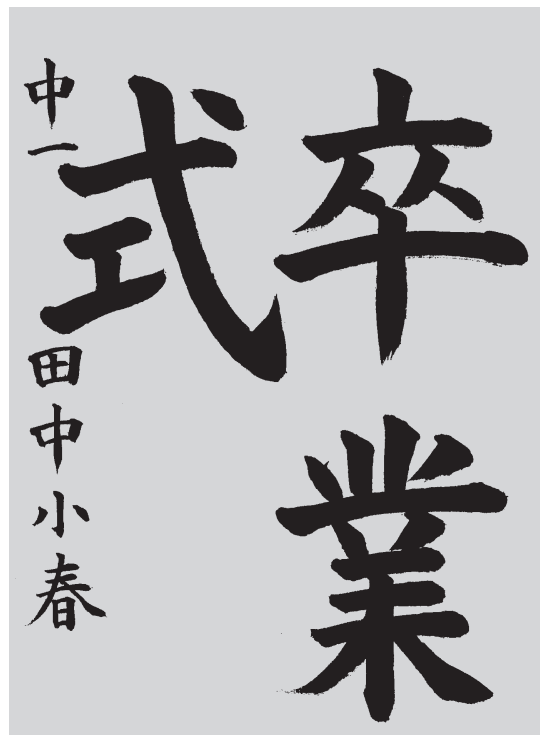
佐藤菜扇先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

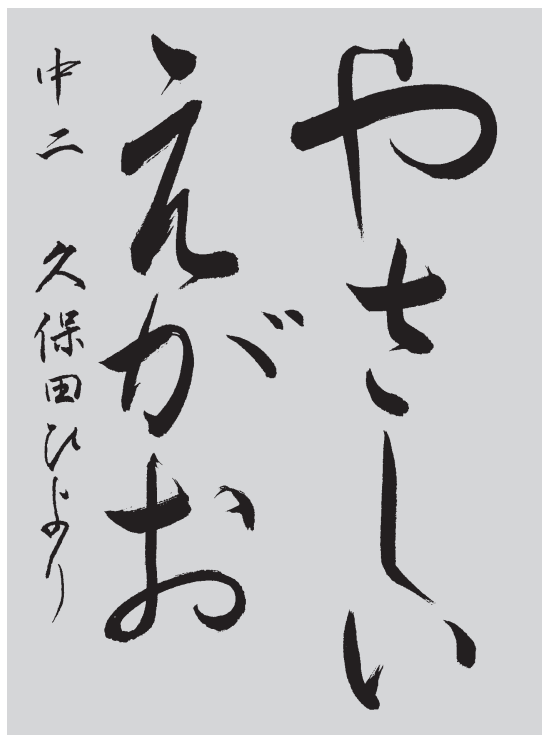
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



東 福 青 篁 先 生



恒 次 鶴 城 先 生



飯 高 和 子 先 生



種 谷 萬 城 先 生

〔3月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔3月10日締切課題〕 用紙は本院指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※3月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、4月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

支 部 名			
	は	し	
だん・きゅう	な	ば	
	が	ら	
がくねん	さ	く	
一	い	し	
なまえ	た。	て	
	ふ		
	じ		
	げ		
	み		
	ゆ		

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

「はな」

かたちをよくみて、ていねいにかきましよう。

とめ
むすびのかたち
つづけるきもちで

大きくはらう
へびじゅんへ上から
ら

つづけるきもちでかく
さ

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名		流		雪	
		れ		ど	
段・級		出		け	
		し		水	
学 年		ま		が	
	三	し		谷	
名 前		た		川	
	氷見幸子	。		に	

支 部 名		ボ		公	
		ー		園	
段・級		ト		の	
		が		池	
学 年		あ		に	
	二	り		大	
名 前		ま		き	
	中丸元気	し		な	
		た			
		。			

川
はらう
三つたて画の間かくを
同じにする(たて分間)

谷
とめ
口
よこが出る
下が出る

雪
四つの点の書き方に注意

『雪どけ』
漢字を正しく書きましょう。

池
おれてはねる
シ(さんずい)のかたち

中心
園
画と画の間にちゅうい

公
左右の「はらい」の長さ
「ム」のいし

『ボート』
「園」の字形をただしく書きましょう。

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 5 年

小 学 4 年

支部名			
段・級			
学 年	五		
名 前	山崎美樹		
	共通語を使います。	の人の前で話すときは	式典や会議など多く

支部名			
段・級			
学 年	四		
名 前	風間康平		
	なことが分かります。	見学すると、いろいろ	工場や博物館などを

いったん止めてはらう
上手にのせる
（しん）の形に注意

（筆順）
ぎ（ほごくり）の形と長さに注意
議議議議議議議

中心
式

（筆順）
一 一 一 一 一 式式式
長さと角度に注意

〔共通語〕
筆順に気をつけて、文字の外形を整えましょう。

（筆順）
舎 食 館 館 館
とめ

（筆順）
ノ 牛 物 物
ななめ分間とはらいの方向に注意

（筆順）
十 十 十 十 博 博
点の位置に注意

〔見学〕
「へん」と「つくり」の組み合わせに気をつけて書きましょう。

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支部名	遺産登録への道につながった。 し遺そうとする人々の努力が世界 故郷の景観を、一途なまでに愛
段・級	
学 年	
名 前	
志田順子	

支部名	討論会で、政治家が 税金の基本的な問題に ついて説明した。
段・級	
学 年	
名 前	
桐谷俊之	

〈簡単な行書〉
 界 観
 登 努

中心
 一途なまでに愛

『世界遺産』
 行の中心がゆがまないように書きましょう。

基

〈筆順〉
 一 廿 廿 廿 其 基
 二つのたて画の始筆の位置に注意
 横にあまり広げない

論

〈筆順〉
 言 言 論 論 論
 左右のはらいの長さや角度

討

※一画目の点は二画目につけない
 点の位置に注意

『討論会』
 字形を正しく書きましょう。

行書を学ぼう

(199)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

笑

笑

式

式

卒

卒

顔

顔

典

典

業

業

ひらがなの字源

(199)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

源字	字形
お	於 お お お
が	加 か か か
え	衣 え え え
い	以 い い い
し	之 し し し
さ	左 さ さ さ
や	也 や や や

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

3年	白	ハク ビャク しろ しら しろ・い	ノ	イ	白	白	白
4年	科	カ	ニ	千	禾	禾	禾 科 科
	緑	リョク ロク みどり	糸	紵	紵	紵	紵 緑 緑
5年	茶	チャ サ	艹	艸	艸	茶	茶 茶 茶
	場	ジョウ ば	十	土	坦	坦	坦 場 場
6年	式	シキ	一	一	一	式	式
	戦	セン いくさ たたか・う	ツ	單	單	戰	戰 戰 戰
	世	セイ せよ	一	十	廿	廿	世
中学	卒	ソツ	一	一	一	卒	卒
	城	ジョウ しろ	土	圻	圻	城	城 城
	善	ゼン よ・い	一	羊	羊	善	善
	尽	ジン つ・くす つ・きる つ・かす	フ	コ	尸	尺	尽

漢字に親しもう

④8

3月号四年生の毛筆課題「緑茶」から「緑」という字にスポットを当てて成り立ちから使い方で、また、「色をあらわす漢字」をまとめて覚えよう。



緑

おん
くん
リョク・ロク
みどり

（「糸」をくみあわせた字。

かわをはいだ青竹のようなみどり色にそめた糸をあらわす。青竹や草の色である「みどり」のいみにつかう。

（「糸」をくみあわせた字。はがれおちるようす）と、糸をくみあわせた字。

色

をあらわす漢字
赤 白 青 黄
緑 黒 金

赤

おん
くん
セキ・シヤク
あか・あかい・あからむ・あからめる

いみ ①あか。あかい。②ありのまま。③まったくない。▼赤外線・赤十字・赤道

白

おん
くん
ハク・ビヤク
しろ・しら・しろい

いみ ①しろ。しろい。②あきらかに。③かがやいてあかるい。▼白衣（はくい・びやくい）・白銀・白紙

青

おん
くん
セイ・シヨウ
あお・あおい

いみ ①あおい。②わかい。▼青春・青海原・青年

黄

おん
くん
コウ・オウ
き・こ

いみ きいろ。▼黄泉・黄金（おうこん・こがね）・硫黄

茶

おん
くん
チャ・サ

いみ ①茶の木。お茶。②お茶の作法。③茶色。▼茶道（さどう・ちゃどう）・緑茶・喫茶店

黒

おん
くん
コク
くろ・くろい

いみ ①くろ。くろい。▼黒板・黒煙・黒点

金

おん
くん
キン・コン
かね・かな

いみ ①かね。金・銀・銅・鉄などの鉱物。②きいろで、美しいやのある金属。きん。③おかね。④きんいろ。⑤金をふくむ割合。▼金貨・金銭・金額

編集余録

○第65回記念全国学生書道展が間もなく2月16日（日）から21日（金）まで（17日（月）休館）東京都美術館で開催されます。会場の都合で特別賞の奨励賞以上の展示になります。皆さんを指導している先生方の指導者展も同会場であります。2月16日午前に東京国立博物館で表彰式を行います。多くの先生方のご協力により一つ一つが進んでいます。万全の準備でこの行事に臨みます。今号は、団体賞と個人賞の上位入賞者名簿を掲載いたしました。沢山の方に展覧会場に来ていただきたいと思っております。

○毎年、この時期は、市や校内展の書き初め審査の依頼を受けます。いつも同じ気持ちで臨みますが、一人一人が一生懸命書いた作品を全力で審査します。最後に特別支援学級の子供達の作品も拝見します。先生方やお父さんお母さんが頑張れ頑張れと応援している様子がうかがえます。ちょっと胸が熱くなります。

○今、全日本書道連盟が中心になり、書写毛筆を小学1年生から始めるよう文部科学省に働きかけをしているそうです。書道文化をみんなで大切にする心は、とても良い事だと思います。

（鄭街）